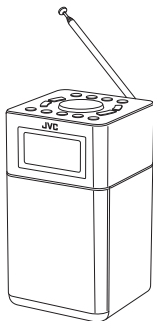


JVC

ラジオ

取扱説明書/保証書

RA-C80BT



 Bluetooth®

• もくじは2ページにあります。

お買い上げありがとうございます

 **ご使用前に**

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと本書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。



ユーザー登録
のすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。

ご登録いただきますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。下記ウェブサイト、または添付されている場合はハガキのどちらからでもご登録いただけます。

● 下記アドレスのホームページより、ご登録ください。

<https://www.32.jvckenwood.com/jvc/system/cons/index.asp>



B5A-3596-00

もくじ

はじめに	4
本機を楽しむには	4
各部の名称	6
本体前面	6
本体背面	7
本体上面	8
電源を準備する	10
ACアダプターを接続する	10
電池を入れる	11
ヘッドホンを使う	13
基本操作	14
電源を入れる／切る	14
スタンバイモードを切り換える	14
いろいろなソース(音源)を聴く	15
時計を合わせる	16
ラジオを聴く	20
放送局を受信する	20
受信状態を改善する	22
放送局を記憶させる(プリセット)	25
記憶した放送局を呼び出す	27
BLUETOOTH 機器を聴く	29
BLUETOOTH 機器を接続する	29
相手機器の基本操作	30
接続を解除する	31

外部機器を聴く	32
外部機器を接続する	32
外部機器を聴く	33
スリープタイマーを使う	34
スリープタイマーを設定する	34
アラームを使う	36
スヌーズ機能を使う	39
表示部の明るさを変える	40
電源を入れたときの明るさを設定する	40
ディマーを設定する	42
タイムアウトを設定する	44
その他の情報	46
オートパワーセーブ(節電機能)について	46
出荷時の状態に戻す	46
電波について	48
商標	49
故障かな?と思ったら	50
主な仕様	52
保証とアフターサービス	54

はじめに

本機を楽しむには

音声を楽しむために準備しましょう

AC アダプターを接続しましょう (p. 10)



いろいろなソース(音源)を聴きましょう

ラジオ (p. 20)



BLUETOOTH 機器 (p. 29)



外部機器 (p. 32)



本書のボタン表記について

- ・ 本書では、特に表記のないボタンは本体のボタンを示しています。
- ・ この取扱説明書のディスプレイ表示は実際のディスプレイ表示とは異なる場合があります。

本機のボタン操作についてのご注意

本機のボタンの押し方には、2通りあります。

ボタンを短めに押す:

ボタンを軽く短めに「ポン」と押して、早めに指を離してください。強く押し過ぎたり、ゆっくり押すと本機が反応しない場合があります。そのような場合は、押す時間や力を調整して数回試してみてください。



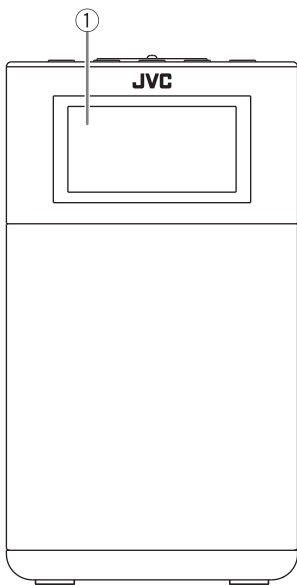
ボタンを長めに押す:

ボタンを長めに押し続け、目的の動作が実行された後に、指を離してください。



各部の名称

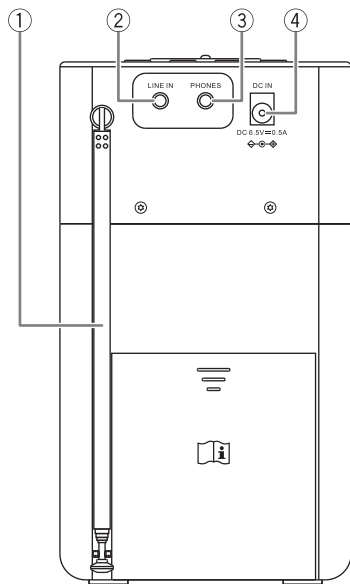
本体前面



① 表示部

本機の状態が表示されます。

本体背面



① FM ロッドアンテナ

FM 放送を受信します。

② LINE IN 端子

アナログ音声出力端子がある外部機器を、音声ケーブル(市販品)を使用して接続します。

③ PHONES 端子(ヘッドホン端子)

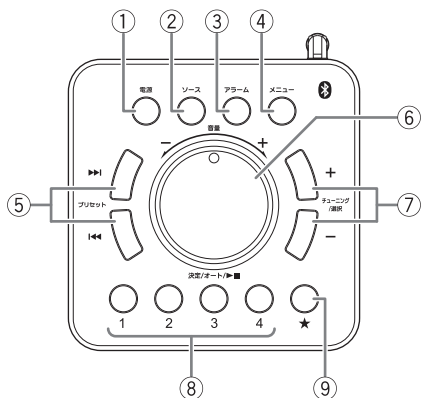
ヘッドホンを接続します。

ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。

④ DC IN 端子

付属の AC アダプターを接続します。

本体上面



① 電源ボタン

電源のオン/オフ(スタンバイ)/エコスタンバイを切り換えます。

② ソースボタン

ソース(音源)を切り換えます。

③ アラームボタン

アラーム機能を設定します。

④ メニューボタン

ソース(音源)が「FM」のときに、各種設定メニューを表示します。

⑤ ◀▶/▶▶ プリセットボタン

記憶したラジオ放送局(FM)を呼び出すときに、プリセット番号を切り換えます。

また、BLUETOOTH 機器の曲をスキップします。

⑥ 音量つまみ/決定/オート/▶|| (再生/一時停止)ボタン

音量を調節します。右に回すと音量が上がり、左に回すと音量が下がります。ラジオ放送(FM)のオート選局時や、各種設定メニューの決定時に使用します。

⑦ +/- (チューニング/選択)ボタン

ラジオ放送(FM)のマニュアル選局時に、受信周波数を調整します。また、各種設定メニューを選ぶときに使用します。

⑧ ワンタッチボタン

プリセット番号 1~4 にラジオ放送局(FM)を記憶させます。また、プリセット番号 1~4 に記憶したラジオ放送局(FM)を呼び出します。

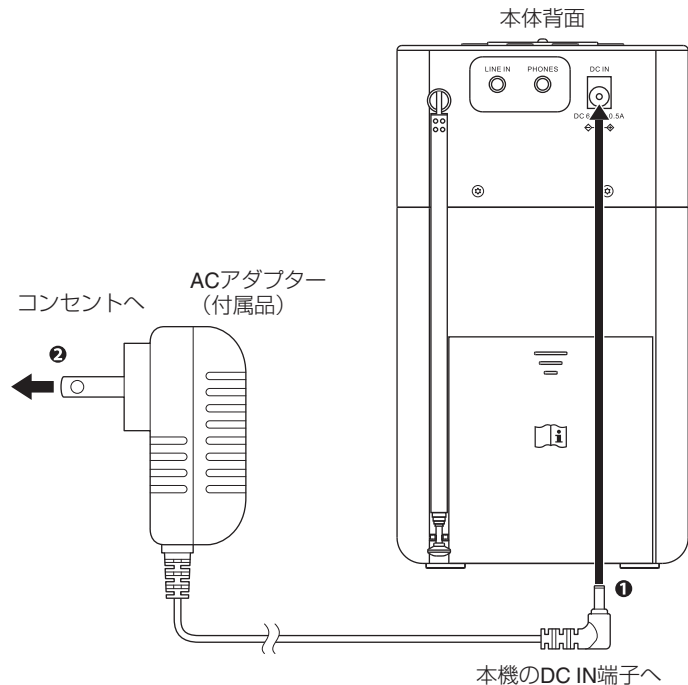
⑨ メモリーボタン

最大 20 局までラジオ放送局(FM)を記憶させます。また、記憶したラジオ放送局(FM)を確認するときに使用します。

電源を準備する

ACアダプターを接続する

付属の AC アダプターを本機の DC IN 端子に接続してから、電源プラグをコンセントに差し込んでください。



- コンセントの奥まで確実に差し込んでください。

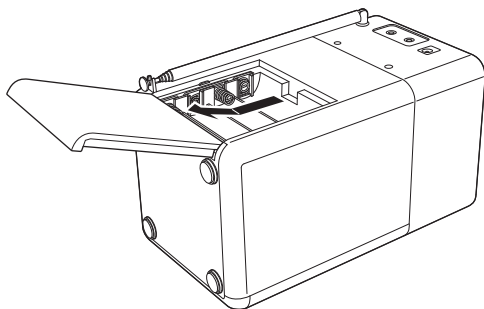
お知らせ

- 出かけるときや長期間使用しないときは、AC アダプターをコンセントから抜いてください。

電池を入れる

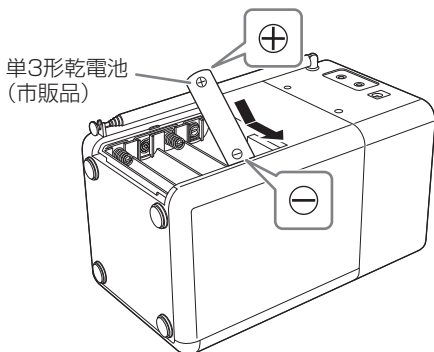
本機は付属の AC アダプターを接続せずに、乾電池(市販品)で使用することもできます。

1 本体背面のカバーを開ける

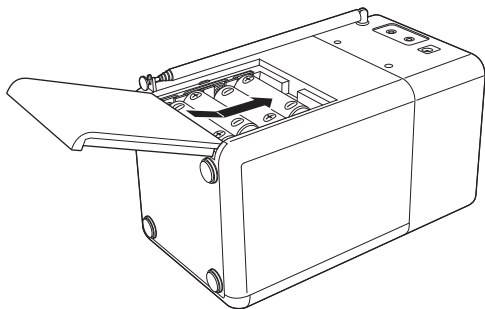


2 単3形乾電池(市販品)4本を入れる

- 乾電池の ⊕ と ⊖ の向きを正しく入れてください。
- 隣り合う乾電池の ⊕ と ⊖ の向きは、交互に逆となります。



3 カバーを閉める



ご注意

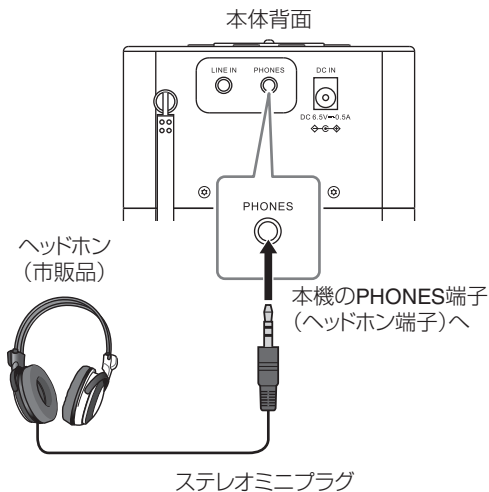
- 乾電池は、「安全上のご注意」(別紙)をお読みの上、正しくお取り扱いください。
- 使用済みの乾電池は、絶縁テープなどを貼って絶縁し、所在自治体の指示に従って廃棄してください。
- 落としたりぶつけたりなど、本機に強い衝撃を与えないでください。

ヘッドホンを使う

ヘッドホンを装着する前や、ヘッドホンのプラグを抜き差しする前に、音量を最小にしておいてください。

お知らせ

- ヘッドホンを接続すると、スピーカーから音が出なくなります。
- 市販の 3.5mm ステレオミニプラグ(3 極タイプ)のヘッドホンをお使いください。



- 1 音量を最小にする
- 2 PHONES 端子(ヘッドホン端子)に接続する
- 3 音量を調整する

基本操作

電源を入れる／切る



押すたびに電源のオン/オフ(スタンバイ)が切り換わります。

スタンバイモードを切り換える

本機では、2種類のスタンバイモードを設定できます。

本機の電源が切れているとき(スタンバイ中、またはエコスタンバイ中)に



(押し続ける)

スタンバイ中に押し続けると、エコスタンバイになります。

エコスタンバイ中に押し続けると、スタンバイになります。

- スタンバイモード：
表示部に時計が表示されます。
- エコスタンバイモード：
表示部が消灯し、節電状態になります。

いろいろなソース(音源)を聴く

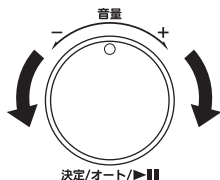
1 ソース(音源)を選ぶ



(くり返し押す)

- ・ 押すたびにソース(音源)が次のように切り換わります。
FM → Bluetooth → LINE IN → (最初に戻る)

2 音量を調節する



(回す)

- ・ 調節範囲: MIN から MAX まで 32 ステップあります。
- ・ 音量値は表示部にバーで表示されます。

時計を合わせる

1 本機の電源を入れる



2 ソース(音源)を「FM」に切り換える



(くり返し押す)

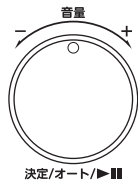
3 設定メニューを表示する



4 「System」を選ぶ



(くり返し押す)

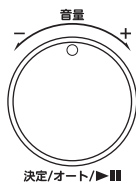


(押す)

5 「Time」を選ぶ



(くり返し押す)

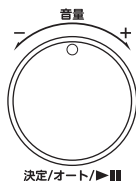


(押す)

6 「Set Time/Date」を選ぶ



(くり返し押す)



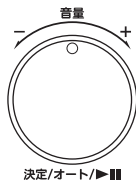
(押す)

- 「Set time」と表示され、時計の時刻設定を開始します。

7 時計の「時」を合わせる



(くり返し押す)

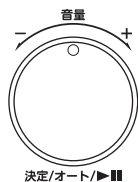


(押す)

8 時計の「分」を合わせる



(くり返し押す)



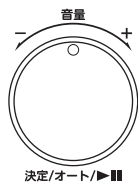
(押す)

- ・「Set date」と表示され、時計の日付設定を開始します。

9 時計の「日」を合わせる



(くり返し押す)

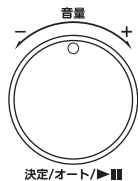


(押す)

10 時計の「月」を合わせる

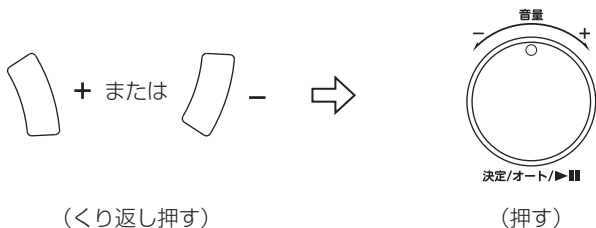


(くり返し押す)



(押す)

11 時計の「年」を合わせる



- ・「Saved」と表示され、時計の設定が保存されます。

お知らせ

- ・ + / - チューニング/選択ボタンを押し続けると連続して数字が変わり、離すと停止します。
- ・ 本機の時計は月に 1、2 分程度のズレが生じる場合があります。定期的に時計を合わせ直すことをおすすめします。
- ・ 電源を抜いたり、停電で電源が切れたりした場合は、時計を合わせ直してください。

ラジオを聴く

FM 放送を聴く前に、必ず FM ロッドアンテナを伸ばしてください。

お知らせ

- 本機は、FM ラジオで AM ラジオの一部が聴ける「ワイド FM」に対応しています。
- AM ラジオは聴けません。

放送局を受信する

受信方法は、オートとマニュアルの 2 種類があります。

1 ソース(音源)を「FM」にする

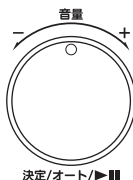


(くり返し押す)

- 「FM」と表示された後、現在の受信周波数が表示されます。

2 放送局を選ぶ

オートで選ぶ場合

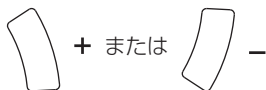


(押し続ける)

押し続けると自動的に選局を始め、放送を受信すると停止します。

- 選局中は「Auto Scanning...」と表示されます。
- 選局を途中で停止したいときは、もう一度押します。

マニュアルで選ぶ場合



(くり返し押す)

くり返し押すと、0.1 MHz ずつ受信周波数が変わります。

押し続けると自動的に選局を始め、放送を受信すると停止します。

- 選局中は「Scanning...」と表示されます。
- 選局を途中で停止したいときは、もう一度押します。

お知らせ

- ワイド FM とは、AM の電波が受信しづらい、鉄骨の建物内・ビルや山に囲まれた地域、外国からの混信などの難聴および災害対策のため、AM 放送の番組を FM 放送の拡張帯域 (90~95MHz) で再送信する放送サービスです。
- ワイド FM ですべての AM 放送が受信できるものではありませんが、お住まいの地域によって受信可能な放送局・周波数が異なりますので、新聞の番組表や、お聴きになりたい放送局のホームページなどでご確認ください。

受信状態を改善する

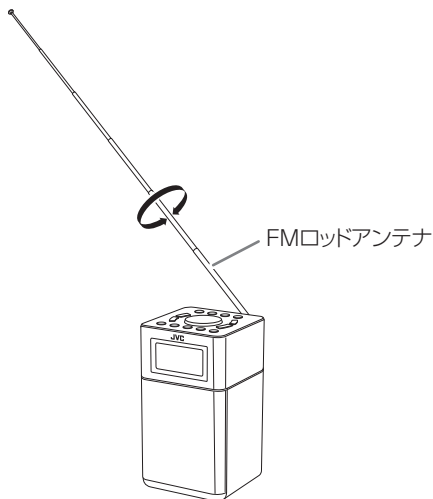
受信状態が良くないときは、放送を聴いて確認しながら、アンテナを調整してください。

ご注意

- 集合住宅など鉄骨構造の住宅では、電波が遮られるため、受信状態が悪くなります。放送を良好に受信できない場合は、本機を窓際に近づけてください。
- FM 放送の受信の妨げになる場合があるため、本機は電気製品や、他のケーブルからできるだけ離して設置してください。

FM ロッドアンテナを調整する

最もよく受信できるように、FM ロッドアンテナの角度および方向を調整してください。



放送局の自動検索方法を切り換える

オートで放送局を選ぶ(p. 20)ときの検索方法を設定します。通常はすべての放送局を自動検索するように設定されていますが、受信状況が良くないときは、電波状況の良い放送局のみを自動検索するように切り換える機能です。

1 ソース(音源)を「FM」に切り換える



(くり返し押す)

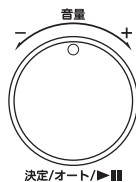
2 設定メニューを表示する



3 「Scan setting」を選ぶ

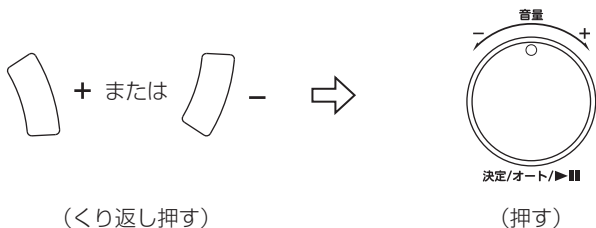


(くり返し押す)



(押す)

4 「Strong stations only」を選ぶ



- 電波状況の良い放送局のみを自動検索するように設定されます。

お知らせ

- すべての放送局を自動検索するように戻すには、手順 4 で「All stations」を選んでください。
- 現在設定中の項目は、表示部の右端中段に「*」マークが表示されます。

放送局を記憶させる(プリセット)

FM 放送局を、最大 20 局まで記憶させることができます。

1 記憶させたい放送局を受信する

2 プリセット番号を表示する



(押し続ける)

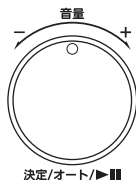
- ・「Preset Store」と表示され、プリセット番号を選べるようになります。

3 記憶させたいプリセット番号を選び、記憶させる

プリセット番号 1~20 の中から選んでください。



(くり返し押す)



(押す)

- ・「Stored」と表示され、選んだプリセット番号に放送局が記憶されます。

お知らせ

- ・プリセット番号 1~4 に記憶した放送局は、ワンタッチボタンで呼び出すことができます。

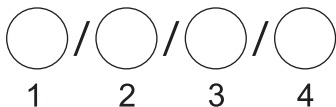
ワンタッチボタンを使って放送局を記憶させる

プリセット番号 1~4 のみ、ワンタッチボタンを使って放送局を記憶させることができます。

1 記憶させたい放送局を受信する

2 記憶させたいプリセット番号を選び、記憶させる

1~4 いずれかのボタンを選んでください。ボタンの番号が放送局を記憶させるプリセット番号となります。



(押し続ける)

- 「Stored」と表示され、選んだプリセット番号に放送局が記憶されます。

記憶した放送局を呼び出す

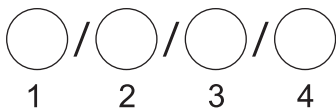


(くり返し押す)

- 押すたびにプリセット番号が切り換わります。
- 放送局を記憶していないプリセット番号の場合は、「Empty」と表示されます。

ワンタッチボタンを使って記憶した放送局を呼び出す

プリセット番号 1～4 に記憶した放送局をワンタッチボタンで呼び出します。



- 放送局を記憶していないプリセット番号の場合は、「Empty」と表示されます。

記憶した放送局を確認する

1 プリセット確認表示に切り換える

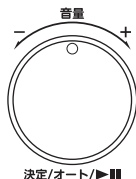


- 「Preset Recall」と表示されます。

2 確認したいプリセット番号を表示する



(くり返し押す)



(押す)

- 放送局を記憶していないプリセット番号の場合は、「(Empty)」と表示されます。

BLUETOOTH 機器を聴く

お手持ちのスマートフォンやポータブルプレーヤーなどの BLUETOOTH 機器の音を本機で聴くことができます。

BLUETOOTH 機器を接続する

本機と BLUETOOTH 機器(以下、相手機器)を初めて接続するときは、以下の方法でペアリングしてください。

1 ソース(音源)を「Bluetooth」に切り換える



(くり返し押す)

- ・「Not Connected」と表示されます。

2 相手機器の BLUETOOTH 機能をオンにする

3 相手機器で「JVC RA-C80BT」を選ぶ

ペアリングが完了し、相手機器と本機が自動的に接続されます。

- ・接続が完了すると、「Connected」と表示され、「Connected」とアナウンスが聞こえます。
- ・ペアリング中にパスキー(暗証番号)の入力を求められた場合は、「0000」を入力してください。

4 相手機器を再生する

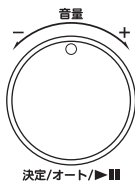
相手機器の音楽再生アプリを立ち上げて、再生してください。

お知らせ

- ・ソース(音源)を「Bluetooth」に切り換えると、本機と最後に接続した相手機器と再接続します。
- ・接続できないときや、本機から音が出ないときは、相手機器で本機のペアリング情報を削除してから、やり直してください。
- ・相手機器によっては、本機と接続できない場合があります。

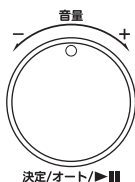
相手機器の基本操作

再生する



(押す)

一時停止する



(押す)

もう一度押すと、一時停止を解除し、再生します。

曲を選ぶ



(くり返し押す)

接続を解除する

相手機器の **BLUETOOTH** 機能をオフにします。接続が解除されると、「Disconnected」とアナウンスが聞こえ、「Not Connected」と表示されます。

お知らせ

以下の場合も自動的に接続が解除されます。

- 本機または相手機器の電源を切ったとき
- 他のソース(音源)に切り換えたとき

他の **BLUETOOTH** 機器を接続する

今まで使用していた相手機器の **BLUETOOTH** 機能をオフにしてください。ペアリング待機状態になります。他の **BLUETOOTH** 機器を接続してください。

ご注意

- **BLUETOOTH** で接続できる距離は、最大 10m です。お使いの環境によっては、これよりも短くなります。
- iPhone やスマートフォンを **BLUETOOTH** 接続した状態では、電話やメールなどの着信音も本機のスピーカーから流れる場合があります。
- 本機にはマイク機能は搭載されていません。
- 電話の着信時は **BLUETOOTH** の音楽は止まります。通話はスマートフォンで行なってください。
- 相手機器によっては、本機と接続できない場合があります。
- 相手機器によっては、操作(再生、一時停止、選曲)ができない場合があります。
- 電波状況によって音声途切れたり、詰まって聞こえたりする場合があります。本機または接続機器の設置位置を変更してください。
- 相手機器のイコライザ機能がオンになっていると、音声歪む場合がありますので、オフにしてください。

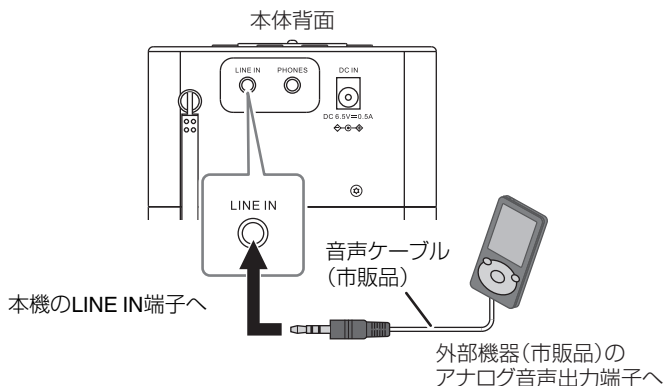
外部機器を聴く

外部機器を接続する

外部機器にアナログ音声出力端子がある場合は、本機の **LINE IN** 端子に、音声ケーブル(市販品)を使用して接続します。

お使いの外部機器の取扱説明書もご覧ください。

- 1 本機の音量を最小にする
- 2 **LINE IN** 端子に外部機器を接続する



外部機器を聴く

1 ソース(音源)を「LINE IN」にする



(くり返し押す)

2 外部機器を再生する

3 音量を調節する

スリープタイマーを使う

スリープタイマーを設定する

設定した時間が経過すると、自動で電源が切れる機能です。

1 ソース(音源)を「FM」に切り換える

ソース



(くり返し押す)

2 設定メニューを表示する

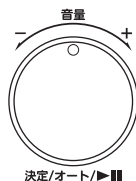
メニュー



3 「System」を選ぶ



(くり返し押す)



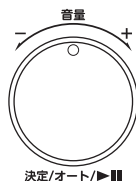
(押す)

4 「Sleep」を選ぶ



(くり返し押す)

- ・「Set sleep time」と表示されます。

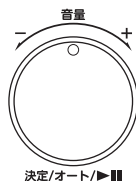


(押す)

5 スリープタイマーの時間を選ぶ

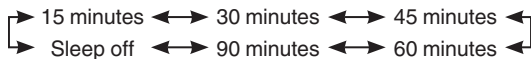


(くり返し押す)



(押す)

- ・ +/- チューニング/選択ボタンを押すたびに、電源が切れるまでの時間(単位:分)が次のように切り換わります。



- ・ スリープタイマーを設定すると、表示部の右端中段に「Sxx」(xx は本機の電源が切れるまでの残り時間)が表示されます。
- ・ スリープタイマーを解除するときは、「Sleep off」を選んでください。

お知らせ

- ・ スリープタイマーの動作中は、オートパワーセーブ(p. 46)は無効です。

アラームを使う

設定した時刻に電源が入り、ブザー音または FM 放送を再生する機能です。
異なる設定のアラームを 2 つまで設定できます。

ご注意

- あらかじめ時計を合わせておいてください。(p. 16)

1 アラームボタンを押す

アラーム

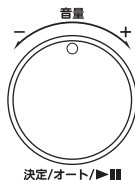


(押し続ける)

2 「Alarm 1」(アラーム 1)または「Alarm 2」(アラーム 2)を選ぶ



(くり返し押す)

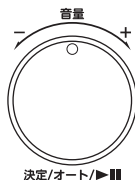


(押す)

3 アラームの時刻を設定する

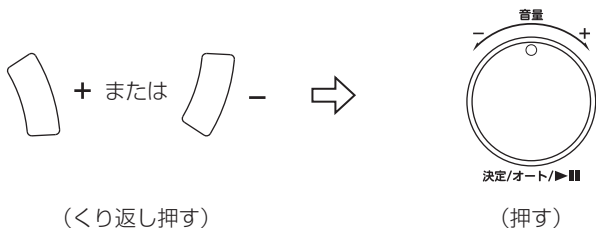


(くり返し押す)

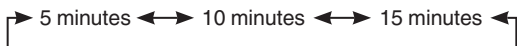


(押す)

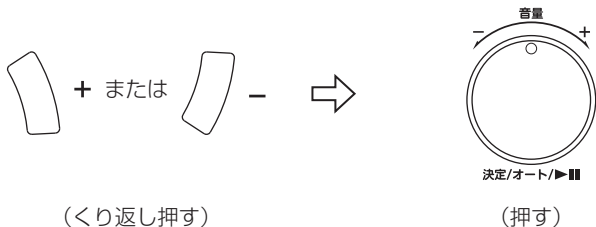
4 アラームの持続時間を選ぶ



- ・ +/− チューニング/選択ボタンを押すたびに、アラームの持続時間(単位:分)が次のように切り換わります。

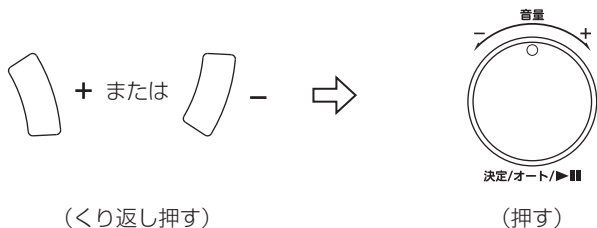


5 アラームの音源を「Buzzer」(ブザー音)または「FM」(FM 放送)から選ぶ



- ・ 「FM」を選んだ場合は、さらに +/− チューニング/選択ボタンを押して、アラームで使用する放送局を選び、決定/オート/▶▶ ボタンを押してください。最後に聴いた放送局にする場合は、「Last listened」を選んでください。

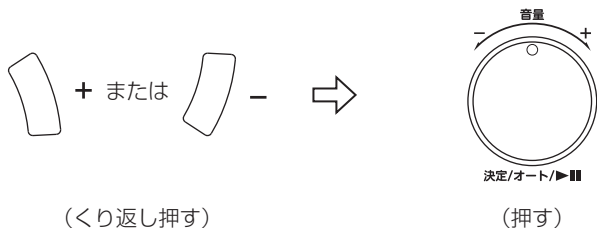
6 アラームの頻度(回数/曜日)を選ぶ



- +/−チューニング/選択ボタンを押すたびに、アラームの頻度(回数/曜日)が次のように切り換わります。



7 「Alarm On」を選ぶ



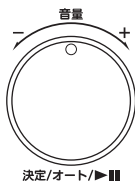
- 「Alarm Saved」と表示され、アラームの設定が保存されます。
- アラームを設定すると、表示部の左上にアラームアイコンが表示されます。アラーム 1 の場合は「1」、アラーム 2 の場合は「2」がアイコンの右側に表示されます。

お知らせ

- 設定を解除するには、手順 7 で「Alarm Off」を選んでください。
- 手順 6 で「Daily」、「Weekends」、「Weekdays」を選んだ場合は、設定が解除されるまで続きます。使用しないときは、設定を解除してください。
- 手順 6 で「Once」を選んだ場合は、一度作動すると設定が解除されます。
- アラーム作動中に設定を解除するときは、電源を切ってください。
- アラームボタンをくり返し押すと、アラームアイコンと番号が点灯し、使用するアラームを選ぶことができます。
アラームボタンを押すたびに、次のように切り換わります。
アラーム 1 → アラーム 2 → アラーム 1 とアラーム 2 →
消灯 → (最初に戻る)
- アラームは電源オン/オフ(スタンバイ)のどちらの状態でも作動します。

スヌーズ機能を使う

アラーム作動中に



(押す)

スヌーズ機能がオンになります。いったんアラームが止まり、5 分後に再度アラームが作動します。

お知らせ

- スヌーズ機能を解除するときは、電源を切ってください。

表示部の明るさを変える

電源を入れたときの明るさを設定する

1 ソース(音源)を「FM」に切り換える



(くり返し押す)

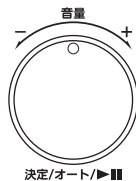
2 設定メニューを表示する



3 「System」を選ぶ



(くり返し押す)

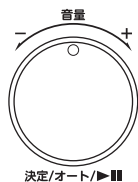


(押す)

4 「Backlight」を選ぶ



(くり返し押す)

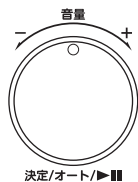


(押す)

5 「On level」を選ぶ



(くり返し押す)



(押す)

- ・ +/- チューニング/選択ボタンを押すたびに、表示部の明るさが次のように切り換わります。



お知らせ

- ・ 現在設定中の項目は、表示部の右端中段に「*」マークが表示されます。

ディマーを設定する

操作中以外および電源が切れているときの明るさを設定します。

1 ソース(音源)を「FM」に切り換える

ソース



(くり返し押す)

2 設定メニューを表示する

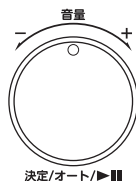
メニュー



3 「System」を選ぶ



(くり返し押す)

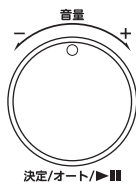


(押す)

4 「Backlight」を選ぶ



(くり返し押す)

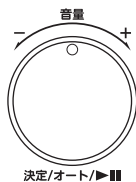


(押す)

5 「Dim Level」を選ぶ



(くり返し押す)



(押す)

- ・ +/- チューニング/選択ボタンを押すたびに、表示部の明るさが次のように切り換わります。



お知らせ

- ・ 現在設定中の項目は、表示部の右端中段に「*」マークが表示されます。

タイムアウトを設定する

ディママーで設定した明るさになるまでの時間を設定します。

1 ソース(音源)を「FM」に切り換える



(くり返し押す)

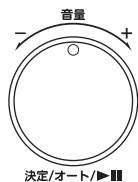
2 設定メニューを表示する



3 「System」を選ぶ



(くり返し押す)

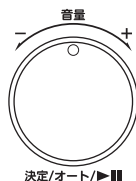


(押す)

4 「Backlight」を選ぶ



(くり返し押す)

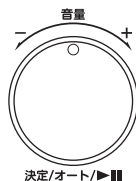


(押す)

5 「Timeout」を選ぶ

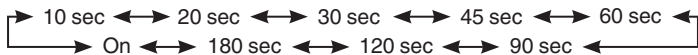


(くり返し押す)



(押す)

- ・ +/- チューニング/選択ボタンを押すたびに、ディマーで設定した明るさになるまでの時間(単位:秒)が次のように切り換わります。



- ・ 「On」を選ぶと、「On level」で設定した明るさのままとなります。

お知らせ

- ・ 現在設定中の項目は、表示部の右端中段に「*」マークが表示されます。

その他の情報

オートパワーセーブ(節電機能)について

以下いずれかの状態で約 15 分間何も操作しない場合、本機の電源が自動的に切れます。

ソース(音源)	本機の状態(いずれかにて動作)
BLUETOOTH	<ul style="list-style-type: none">• BLUETOOTH 機器を接続していないとき• 音声入力がないとき
LINE IN	<ul style="list-style-type: none">• 外部機器を接続していないとき• 音声入力がないとき

お知らせ

- 途中でボタン操作をした場合は、その時点から 15 分後に電源が切れます。
- スリープタイマー作動中は、オートパワーセーブは働きません。
- オートパワーセーブ機能はオフにできません。

出荷時の状態に戻す

本機をリセットすると、各種の設定内容は消滅し、お買い上げ時の状態となります。

1 ソース(音源)を「FM」に切り換える

ソース



(くり返し押す)

2 設定メニューを表示する

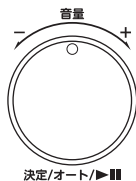
メニュー



3 「System」を選ぶ



(くり返し押す)

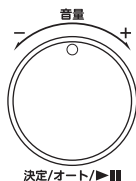


(押す)

4 「Factory Reset」を選ぶ



(くり返し押す)

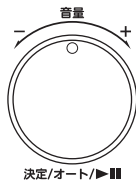


(押す)

5 「Yes」を選ぶ



(くり返し押す)



(押す)

「Restarting...」と表示されます。

本機がリセットされ、お買い上げ時の状態となります。

電波について

- 本機は、電波法に基づく小電力データ通信システム無線局設備として技術基準適合証明を受けた部品を使用しています(または、を受けた部品を使用しています)。したがって、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。日本国内のみで使用してください。日本国内以外で使用すると各国の電波法に抵触する可能性があります。以下の事項を行うと、法律で罰せられることがあります。
 - 分解/改造すること
 - 本機の証明表示(☎)を改変すること
- 本機は 2.4GHz 帯の周波数帯を使用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記事項に注意してご使用ください。

使用上のご注意

本機の使用周波数帯(2.4GHz)では、電子レンジ等の産業・科学・医療機器のほか工場の製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)及び特定小電力無線局(免許を要しない無線局)並びにアマチュア無線局(免許を要する無線局)が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局、並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、当社カスタマーサポートセンターにご連絡頂き、混信回避の処置等についてご相談ください。
3. その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、当社カスタマーサポートセンターへお問い合わせください。

- 製品に表示している周波数表示の意味は以下の通りです。

2.4 FH 1

2.4 : 2.4GHz 帯を使用する無線機器です。

FH : FH-SS 変調方式を表します。

1 : 電波与干渉距離は 10 m です。

□□□ : 全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避可能です。

- 使用可能距離は見通し距離約 10m です。鉄筋コンクリートや金属の壁などをはさんでトランスミッターとレシーバーを設置すると電波を遮ってしまい、音楽が途切れたり、出なくなったりする場合があります。本機を使用する環境により伝送距離が短くなります。
- 下記の電子機器と本機との距離が近いと電波干渉により、正常に動作しない、雑音が発生するなどの不具合が生じることがあります。
 - 2.4GHz の周波数帯域を利用する無線 LAN、電子レンジ、デジタルコードレス電話などの機器の近く。電波が干渉して音が途切れることがあります。
 - ラジオ、テレビ、ビデオ、BS/CS チューナー、VICS などのアンテナ入力端子を持つ AV 機器の近く。音声や映像にノイズがのることがあります。
- 本機は電波を使用しているため、第 3 者が故意または偶然に傍受することが考えられます。重要な通信や人命にかかわる通信には使用しないでください。

商標

- Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。株式会社 JVC ケンウッドは使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

故障かな？と思ったら

問題の多くは、当社ホームページ

<https://www.jvc.com/jp/>

から最新の製品 Q&A 情報をご覧ください。ことで解決できます。



カスタマーサポートセンターにご相談になる前に、ホームページや以下の項目をチェックしてください。

ホームページの内容は予告なく変更になることがあります。

以下の項目をチェックしても正しく動作しない場合、

AC アダプターで使用していたときは、電源プラグをコンセントから抜いて、1 分程度経ってから差し込み直してください。

電池で使用していたときは、本機から電池を取り出して、1 分程度経ってから入れ直してください。

共通

電源が入らない。

→ AC アダプターのプラグがコンセントに正しく接続されているか確認してください。

→ 電池で使用していたときは、新しい電池に取り替えてください。(p. 11)

突然電源が切れてしまう。

→ オートパワーセーブ(節電機能)が働いています。(p. 46)

設定の途中で操作が取り消されてしまう。

→ 操作には時間制限がある場合があります。もう一度操作し直してください。

音声が聴こえない。

→ 本機または接続機器の音量が最小になっていませんか。

→ ヘッドホンをはずしてください。

→ 電池で使用していたときは、新しい電池に取り替えてください。(p. 11)

ラジオ

雑音が多く放送が聴きづらい。

- アンテナを調節してください。(p. 22)
- 窓際などで受信できるかお試しください。

BLUETOOTH 機器

BLUETOOTH 機器に接続できない。

- 相手機器側の BLUETOOTH 機能がオンになっているか確認してください。
- お使いの BLUETOOTH 機器の説明書などで、「A2DP」に対応しているか確認してください。

本機から BLUETOOTH 機器を操作できない。

- お使いの BLUETOOTH 機器の説明書などで、「AVRCP」に対応しているか確認してください。

音が途切れる。雑音が入る。

- BLUETOOTH が接続できる距離を超えているか、本機との間に電波に干渉する機器などがある可能性があります。本機に近づけても改善されない場合は、本機の設置場所を変更してみてください。

外部機器

外部機器の音声が聴こえない。

- 外部機器を正しく接続してください。(p. 32)
- ソース(音源)が「LINE IN」になっているか確認してください。
- 外部機器の音量を確認してください。

アラーム

アラームが正しく作動しない

- 時計が設定されているか確認してください。アラームを使用する前に、時計を設定してください。(p. 16)

主な仕様

アンプ部

実用最大出力: 3 W(モノラル)

入出力端子

LINE IN ステレオミニ(Ø 3.5 mm) x 1

PHONES: ステレオミニ(Ø 3.5 mm) x 1

チューナー部

受信周波数: FM: 76.0 MHz - 95.0 MHz

アンテナ: FM: ロッドアンテナ

BLUETOOTH 部

規格: BLUETOOTH Ver. 5.0 + EDR

送信出力: Class 2

最大通信距離: 見通し距離約 10 m
(使用環境によって異なります)



使用周波数帯域: 2.4 GHz 帯

対応 BLUETOOTH
プロファイル: A2DP (Advanced Audio Distribution Profile)
AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile)

対応コーデック: SBC

対応コンテンツ保護: SCMS-T 方式

共通部

電源:	入力: AC 100 V - 240 V、50 Hz / 60 Hz 出力: DC 6.5 V  0.5 A (付属の AC アダプター JD1041-000A 使用時) DC 6 V  (市販の単 3 型乾電池 4 本使用時)
電池持続時間:	約 25 時間 (BLUETOOTH 再生時、音量 50% 程度) 単 3 型アルカリ乾電池 (LR6) 使用時 (使用条件によって異なります)
消費電力:	2 W (定格消費電力) 0.4 W 以下 (スタンバイモード時) 0.2 W 以下 (エコスタンバイモード時)
最大外形寸法:	幅 90 mm × 高さ 164 mm × 奥行き 97 mm
質量:	470 g

本機の仕様および外観は、改善のため予告なく変更することがあります。

ご注意

- 本機の使用環境温度は、0℃～40℃です。この範囲外の温度で使用すると、正しく動作しなかったり故障の原因となることがあります。

保証とアフターサービス

保証書

所定事項記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保管してください。保証期間はご購入の日より1年間です。

補修用性能部品の最低保有期間

製造打ち切り後6年です。補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

お客様にご記入いただいた保証書は、保証期間中、およびその後の点検・サービス活動のために記載内容を利用させていただく場合がありますので、ご了承ください。本書は、本書記載内容で、無料修理を行うことをお約束するものです。

1. 保証期間中、取扱説明書および本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障した場合は、無償修理または本体部の交換をさせていただきます。その際、当社の判断で再生部品を用いる場合があります。商品と本書をお買い上げの販売店にご持参ご提示のうえ、修理をご依頼ください。
2. 保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
3. 次のような場合は保証期間内でも有料修理にさせていただきます。
 - (1) 本書のご提示がない場合。
 - (2) 本書に型名、製造番号、お買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名の記載がない場合。
 - (3) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障および損傷。
 - (4) お買い上げ後の輸送、移動、落下などによる故障および損傷。
 - (5) 火災、地震、風水害、雷その他の天災地変、虫害、塩害、公害、ガス害(硫化ガスなど)や異常電圧、指定以外の使用電源(電圧・周波数)による故障および損傷。
 - (6) 不具合の原因が本製品以外(外部要因)による場合。
 - (7) 一般家庭用以外(例えば業務用などへの長時間使用および車輛、船舶への搭載)に使用された場合の故障および損傷。

- (8) 消耗品(電池など)の消耗。
- (9) (持込修理対象商品の場合)
持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料はお客様負担とさせていただきます。また、出張修理を行なった場合には、出張料はお客様負担とさせていただきます。
- (10) (出張修理対象商品の場合)
離島および離島に準ずる遠隔地へのお出張修理を行なった場合は、出張に要する実費を申し受けます。
- (11) 不注意、許可なしに行なった修正/改造、あるいは事前承諾を得ずに付加した部品またはインストールしたソフトウェア、ファームウェアが原因となって損傷が発生した場合。
4. この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。この保証書によって株式会社 JVC ケンウッドおよびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買い上げの販売店または JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターにお問い合わせください。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

- 修理などのアフターサービスについては、下記ホームページをご覧ください。
<https://www.jvc.com/jp/support/hrepair/>
- 商品や修理(アフターサービスなど)に関するお問い合わせは、JVC ケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。



固定電話からはフリーダイヤル:0120-2727-87

携帯電話・PHS からのご利用はナビダイヤル:0570-010-114

一部 IP 電話からのご利用は:045-450-8950

受付時間:月曜～金曜 9:30～18:00 / 土曜 9:30～12:00、13:00～17:30
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)

保証書

持込修理

品名	オーディオ商品	製造番号	
型名	RA-C80BT		
お客様	お名前	ふりがな	様
	ご住所		
お買い上げ年月日	年 月 日	保証期間	お買い上げ日から 本体 年間
お買い上げ店	住所・店名・電話		

製造番号は、本機の底面に記載しています。

お客様へのお願い

1. 本書にお買い上げ年月日、お客様名、お買い上げ販売店名が記載されているかお確かめください。万一記入がない場合は、直ちにお買い上げ販売店にお申し出ください。購入日の確認できる書類（シールやレシートなど）の添付でもかまいませんので、大切に保管してください。
2. 製造番号の記載がない場合は、お手数ですが、お買い上げの商品に記載されている8桁の製品番号をお確かめのうえ、記入をお願い致します。
3. ご贈答品などで、本書記載のお買い上げ販売店に修理をご依頼になれない場合は、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターにご相談ください。
4. ご転居の場合は、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
5. 本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

ホームページ <https://www.jvc.com/jp/>

株式会社 JVCケンウッド

〒221-0022 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12